

2011年 9月吉日

ニューヨーク日本商工会議所会頭 小野 誠英
ワシントン日本商工会会長 大辻 純夫

ご寄付お願いの趣意書

謹啓

貴社、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃よりニューヨーク及びワシントン日本商工会活動にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年2012年という年は米国、中国、ロシアや韓国等で大統領選挙や政権交代が行われる点で注目されておりますが、日米関係にとっても非常にエポックメイキングな年となります。即ち、尾崎行雄東京市長が1912年にワシントンDCに桜を贈ってから100周年にあたります。この節目の年に国内外の環境変化により変貌しつつある従来の日米関係を見直し、そして更に発展させるべく、“桜寄贈100周年記念事業”を米国の関係団体及び在米日本大使館と一体になってニューヨーク日本商工会議所およびワシントンDC日本商工会の共同で企画、昨年来準備を進めてまいりました。

ところが3月11日に東日本大震災が発生、私どもは会の活動を震災義捐金募金に集中し活動してまいりました。皆様のご支援の結果、9月現在ニューヨークは143万ドル、ワシントンは、33万ドルもの義捐金を頂戴し、中央共同募金会、パブリックリソースセンター、日本赤十字を中心に寄付させていただいている次第です。

震災から約5ヶ月以上が過ぎ、改めて“桜寄贈100周年記念事業”を両会理事の間で議論した結果、長期的日米関係の重要性は震災を通じ益々高まったとの認識の下、米国の今回の震災支援への感謝の気持ちも込めて改めて以下の事業を推進することといたしました。

但し、震災で多大な被害を受けた会員企業も数多くあることから、できるだけ寄付の負担を減らすべく、寄付目標総額を震災以前の当初計画200万ドルの半額の100万ドルを最低目標とし、各プロジェクトをできる限り効率的に実施する所存です。

- ①日米知的交流支援
- ②日本語教育支援
- ③タイダル・ベイスン¹景観整備
- ④全米桜植樹プロジェクト
- ⑤文化交流事業

(詳細は下記及び別紙に記載)

¹ ポトマック川に隣接した入江で、日本から寄贈された桜並木で知られている

藤崎一郎駐アメリカ合衆国特命全権大使および日本経団連米倉弘昌会長からも協力要請書簡を頂きましたので同封させていただきます。

上記の記念事業を通じて、「オール・ジャパンでオール・アメリカに」を目標に、下記の通り、日米関係の更なる発展に貢献できるよう、実りある記念事業を作り上げるべく、皆様方のご協力をお願い申し上げる次第です。皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

敬具

記

1. 【記念事業の概要】

①日米知的交流支援

ワシントンのマンスフィールド財団が推進する日米の将来への提言プロジェクトを支援する。同財団は日米に関わる産官学の若手専門家を集め日米関係の将来像を検討・提言する。従来の安全保障の議論に止まらず、ビジネスの視点から日米のあるべき互惠関係に向けた戦略の提言を目指す。今年から若手専門家による調査や勉強会を開始し、100周年の来年に提案書の提示と発表会を予定。

②日本語教育支援

日本語を話せるアメリカ人の育成は日米関係の重要な基盤形成のひとつであることからワシントン首都圏、ニューヨーク都市圏を中心に、日本語を学ぶ現地生徒や日本語教育に従事する先生方への支援を行う。

この支援の背景には、当地の小中高校を管轄する州政府の財政難を起因とする日本語を含む外国語クラスの廃止もしくは縮小の危機、他国政府による自国語教育の米国での支援・強化と言った現状が挙げられる。100周年事業としては啓発活動や事業の頭出しを行い、ワシントン商工会・NY商工会議所ほか関係組織を通じ事業継続を狙う。

③タイダル・ベイスン景観整備

タイダル・ベイスンに次世代に記念となるものを残すために、1912年に日本より寄贈された桜の原木がある付近の景観整備（日本風の遊歩道の整備等）を行う。

④全米桜植樹プロジェクト

桜100周年を首都ワシントンだけの事業とせず、全米規模での歴史的な植樹事業を行う。具体的には、植樹団体“アメリカン・フォレスト”を軸に、全米で30都市程度を目標に各都市の象徴的な場所(州・市庁舎、目抜き通り、大学などを中心に)に植樹。教育プログラムとして学校植樹も実施。日米協会、日本商工会、日系米人団体等を

中心に各種日本関連行事も実施予定。

⑤文化交流事業支援

20年以上に亘り大規模に開催されているワシントンの全米桜祭りは、毎年2週間にわたる様々な行事に約100万人が来場する。その間様々な形で「日本」に対する大きな注目が集まる。桜100周年にあたる2012年には、5週間に拡大して開催予定。この全米桜祭りを実施する全米桜祭り協会(NCBF)、州協会全米協議会(NCSS)等を支援する。

2. 【募金目標】

募金目標額： \$100万(8000万円)を最低目標として、超過達成を目標とする。

3. 【寄付税制上の特典について】

在米現地法人、事務所等を通じてのご寄付につきましては、米国の税制上の優遇措置が得られるよう米税務当局から既に承認を得、寄付金の受け入れ体制(501(c)(3)団体)を整えています。

日本からのご寄付に対しては、日本国内での税制上の優遇措置が得られるよう、CBCC(公益社団法人 企業市民協議会)に申請中です。(11月初旬に取得予定)

4. 【寄付金額及び支払い方法】

法人の皆様 一口 1万ドル(可能であれば5口以上お願いします。)

個人の皆様 一口 20ドル

※寄付金額につきましては、上記のごとく考えてはおりますが、昨今の状況に鑑み個社の状況に応じて金額を設定いただくとともに、今年度と来年度に分けて寄付いただくなどの分割払いも含め柔軟にお考えいただければと考えております。

※お問合せ先

ワシントン日本商工会事務局 TEL : (202)463-3947

Email: Office@jcaw.org

もしくは、同商工会桜100周年記念事業担当理事： 大出 隆

TEL: (202)828-9272

Email: takashi.ohde.bu@hitachi.com